

勇者うちドックの冒険！

1 活動の概要

大和市長立図書館では、子どもたちに図書館を身近に感じてもらい、図書館の利用を促進し、家読（うちどく）の普及啓発を図るため、小学校の夏休み期間に読書企画を実施しています。令和6年度は、冒険をテーマに読書チャレンジ冊子を作成しました。エントリーした子どもたちは、市内図書施設の本を読み、読んだ本と冊子を図書館カウンターに持参すると図書館のオリジナルグッズをもらうことができます。

2 活動の状況、実際

冊子のデザインは冒険をイメージさせるものとなっており、ゲーム感覚で楽しく参加できます。見開き5ページの冊子は5つのステージで構成されており、指定された本を読んだり、図書館に関するクイズを解いたりするミッションをクリアしていく過程で、様々な本と触れあうことができます。開始直後からたくさんの小学生が参加してくれました。



3 参加者、指導者等の声

【スタッフ】
「ストーリーとルールを説明する紙芝居を作ったことで、子どもたちが興味を持って、集中してエントリーの説明を聞いてくれました。」

【保護者】
「こんなに楽しそうに本を読んでいる姿は初めて見ました。」

【児童】
「ステージをクリアすると、スタンプを押してもらえて、表紙の装飾がだんだんそろっていくのが楽しかったです。」

